

徳島大学 国際センターニュース

International Center News, Tokushima University

No.32
2019.1

日本語研修初級・上級コース

2018年度前期日本語研修初級コース修了式を8月6日に行いました。中国・モンゴル・タイの受講学生計6名が修了スピーチをし、修了証書を受け取りました。受講生は、専門の研究をしながら、毎日3時間以上の日本語授業に加え、課外活動や自主学習をこなしました。受講生からは「日本語の詳しいところまで学べた」といった感想が出ました。

10月19日には、2018年度後期日本語研修コースの開講式を行いました。ガーナ・フィリピン・インド・バングラデシュ・カンボジア・インドネシア・カナダ・ドイツからの留学生11名が初級コースを（うち2名は11月末まで）、ベトナムからの留学生3名が上級コースを受講しています。

日本語研修初級コースは、日本の大学・大学院に入学予定または在籍中で、日本語が未習又は初級前半レベルの外国人留学生を対象とし、1) 日本での大学生活において必要な情報交換を行い良好な対人関係を維持していくための日本語運用能力を養成すること、2) 各人の専門研究を進めるための基礎的な日本語コミュニケーション力を修得することを目的としています。日本語研修上級コースは、渡日前入学許可制度により本学学部へ入学予定の学生を対象に、日本語での専門授業履修及び単位取得ができる日本語力を養成することを目的としています。



2018年度後期日本語研修コース開講式

全学日本語・英語コース

全学日本語コースは、留学生が専門の勉強をしながら日本語学習ができる、週2回の日本語コースです。受講生は学期初めのレベル分けテストにより、初級から上級までの8レベルのうち自分の日本語レベルに合ったコースに分かれます。2018年度後期には常三島キャンパス・蔵本キャンパス合わせて計54名の外国人留学生が全学日本語コースに登録し、日本語学習に取り組んでいます。

全学英語コースは外国人留学生を対象とした英語授業で、2018年度より開始した語学マイレージプログラムに外国人留学生がスムーズに対応するための支援として、2017年度より開始しました。

外国人留学生の日本文化研修旅行



姫路城集合写真

6月16日、徳島大学の外国人留学生40名を対象にした日本文化研修旅行を実施しました。姫路城を訪れたほか、株式会社ヤクルト本社兵庫三木工場を見学しました。本見学旅行は、留学生が日本の文化や歴史、技術への見聞を広め、留学生同士の交流を深めることを目的としています。

国際センターサマースクール「徳島であおう」2018

2018年8月6日から13日にかけて、徳島大学国際センターサマースクール「徳島であおう」2018を開催し、ベトナム・インドネシア・中国・フィリピン・ポルトガルの協定校等から計39名の大学生が参加しました。本サマースクールは、徳島大学と地域の文化を海外協定校の学生に知ってもらうこと、徳島大学の学生及び地域の国際化に貢献することを目的としています。参加者は8日間、企業訪問や日本文化体験（茶道・書道・邦楽）、日本人学生・地域住民・高校生との交流などを楽しみました。



サマースクール
参加者集合写真

新入留学生ガイダンス

2018年度後期から徳島大学に留学している外国人留学生を対象とした新入留学生ガイダンスを、常三島キャンパス（10月18日）及び蔵本キャンパス（10月25日）で実施しました。計49名の新入留学生が参加し、在留資格や交通ルール、防災など、日本で生活するために必要なことについて理解を深めました。ガイダンス終了後には、徳島地域留学生交流推進協議会の関係機関からご寄付いただいた食料品や日用品等を希望者に配付しました。特に暖かい国から来た留学生にとっては、毛布や防寒具はありがたい支援となったようです。



ガイダンス
の様子

多文化体験交流会



留学生によるベトナムの踊り

11月2日、徳島大学工業会館にて、多文化体験交流会を開催しました。多文化体験交流会は、国際センターと徳島地域留学生交流推進協議会が主催するもので、徳島地域の外国人留学生や日本人学生、地域の方々が交流を深めるために毎年行われています。交流会では、留学生によるダンスや歌が披露されたほか、職員有志による日本の楽器演奏も披露されました。10月初旬に来日した留学生が多く、今回の交流会は新しい友だちを作る良い機会にもなったようです。本交流会には日本人学生と地域の方々を含む約170人が参加しました。外国人留学生、日本人双方にとって、お互いの理解を深める場となるとともに、多文化の豊かさを感じさせる交流会となりました。

外国人留学生在籍者数

徳島大学は、第3期中期目標として、世界からの優秀な外国人留学生を受け入れることで、キャンパスのグローバル化を推進し、グローバル人材の育成を目指しています。平成30年度には、270名以上の外国人留学生を受け入れることを目標に定めています。

平成	外国人留学生在籍者数
26年度	218名
27年度	208名
28年度	211名
29年度	235名
30年度	264名

(各年度5月1日時点)

国際センターは、渡日前入学許可制度やサマースクールの実施により、学部留学生の増加に努めるとともに、宿舍の整備・奨学金制度の拡充を図り、外国人留学生の受け入れ体制の整備を進めています。

海外留学者数

徳島大学のグローバル化に関する第3期中期目標では、世界で活躍できるグローバルリーダーを養成するとともに、グローバルな視点を持った地域活性化を担う人材を育成することを掲げています。目標達成のための取り組みの一つとして、学生への海外留学支援が挙げられます。平成30年度には、本学からの海外留学者数を240名以上とする目標を掲げています。

国際センターでは、短期海外研修プログラムや留学情報イベントの実施、トビタテ!留学JAPAN全国代表プログラムへの申請支援、日々の留学相談対応などを通して、学生の海外への挑戦をサポートしています。

平成	海外留学者数
26年度	166名
27年度	176名
28年度	147名
29年度	191名
30年度	203名 (1月18日時点)

渡日前入学許可制度

2015年度、国際センター・国際課が中心となり、ベトナムのドンズー日本語学校と協定を結び、徳島大学学部への入学を目的とする渡日前入学許可制度を設けました。本制度により、ドンズー日本語学校からの推薦を受けた留学生は、書類審査・遠隔面接などを経て入学が許可され、入学試験のための来日が不要となります。2016年10月にはドンズー日本語学校からの第1期生2名が来日し、半年間の日本語予備教育を終え、2017年4月から学部生となりました。また、2017年10月にはドンズー日本語学校からの第2期生3名が国際センターでの日本語等予備教育を開始し、2018年4月に学部へ入学しました。現在、第3期生となる3名が来日し、2019年4月の学部入学を目指して国際センターでの日本語等予備教育に取り組んでいます。

平成	期	学生数	入学時期	入学先学部
28年度	第1期	2	平成29年4月	理工学部(1名)、生物資源科学部(1名)
29年度	第2期	3	平成30年4月	理工学部(2名)、生物資源科学部(1名)
30年度	第3期	3	平成31年4月	理工学部(1名)、生物資源科学部(2名)



ガレリア新蔵第24回特別展「徳島大学国際化の歩み」

7月18日から9月21日にかけて、徳島大学ガレリア新蔵にて「徳島大学国際化の歩み」を開催しました。本展示は国際センターが中心となり、各部局におけるこれまでの国際化に関する取り組みをまとめたものです。展示に使用した資料等は、国際センターホームページの「印刷物」からダウンロードできます。下記リンクからも閲覧可能です。

<https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/app/wp-content/uploads/2018/10/103d921da497d21b6b9d1f12342df36d.pdf>

地域との交流とグローバル事業

国際センターでは、外国人留学生への日本語教育と並行して、日本文化教育も行っています。地域の方々との交流により教室外で多くの日本人と接して文化を学ぶ機会を提供しています。同時に、地域の方々にも外国人と交流する場を設けることで、徳島地域のグローバル化にも貢献しています。

吉野川市鴨島小学校訪問

6月28日、国際センターの日本語研修コースの留学生6人が鴨島小学校を訪問し、それぞれの国や出身地の紹介をしました。

また、11月9日には日本語研修上級コースのベトナム人留学生3人が同校を訪問し、国紹介を行い児童と交流しました。

さらに12月7日には、日本語研修初級コースの留学生9名が同校を訪れ、それぞれの国紹介を行ったほか、日本の伝統的な遊びについて学びました。

日本語を学んでいる留学生にとっては日本の小学校の様子を知ることができ、また小学生は外国人と交流し文化を学ぶ機会になりました。



留学生による国紹介

徳島市新町小学校訪問

11月10日、徳島大学の留学生11名が新町小学校の外国語活動・国際理解学習に参加しました。留学生は国ごとに教室に分かれ、国紹介を行いました。

徳島市福島小学校訪問

11月13日、国際センター日本語研修初級コースの学生11名が福島小学校を訪問しました。各クラスにて国紹介を行ったほか、児童が準備した英語のゲームを通じて児童と交流しました。

国際交流サロンJSS日本語でしゃべらんで

12月1日、徳島大学の外国人留学生、日本人学生、地域の方々を対象とした国際交流イベント「書道体験」を行いました。30名の参加者が日本文化体験を通して、お互いの国について学び、交流しました。地域の参加者からは「たくさん外国人の方と出会えたこと、そして日本文化を紹介できたことが嬉しかった」という感想がありました。

「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」は、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度で、2020年までの7年間で約1万人の高校生、大学生を「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」の派遣留学生として送り出す計画です。派遣留学生は支援企業と共にグローバル人材コミュニティを形成し“産業界を中心に社会で求められる人材”、“世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材”を目指します。徳島大学では、第1期から9期までに30名の学生が採択され、各々が留学で得た経験を活かし、各分野で活躍しています。

トビタテ！留学JAPAN
日本代表プログラムの特徴

1 多様な活動を支援

交換留学など単位取得を前提としたアカデミックな留学だけでなく、インターンシップやボランティア、フィールドワークなど、多様な活動を支援します。

2 留学プランを自分で設計

学生が自ら定めた目標実現のために、「実践活動」が含まれる留学計画を28日間から2年以内で自由に組み立てられます。

3 留学事前事後研修が充実

将来の日本に求められる資質や能力を伸ばすため、各界のリーダーによる指導が受けられます。

4 グローバル人材育成コミュニティ

全国から選ばれた歴代派遣留学生や支援企業の方々と交流できるトビタテ！留学JAPAN独自のコミュニティに参加できます。

5 手厚い支援

返済不要の手厚い奨学金が給付されます。



トビタテ！
留学JAPAN
その経験が、未来の自信。

トビタテ！留学JAPAN 第8期生 (徳島県地域グローバル人材育成事業第4期生)

工学部3年 矢羽田 友樹

私は2018年9月から3か月間、自然保護活動や環境教育を学ぶためにドイツのフライブルクに留学しました。フライブルクは先進的な環境政策で知られ、緑豊かな自然に隣接しています。このフライブルクで様々な環境活動を行うNABU FREIBURGという団体に活動しました。興味深い活動として、野鳥の長期観察・保護活動があります。私は野鳥を観察・保護する理由の1つとして、生態系ピラミッドの生物多様性を維持していく際に野鳥が環境のバロメーターとなることを学習しました。そして実際に野鳥を観察・保護する現場で専門家から子供まで様々な人々と協力しながら活動に取り組みました。活動を行う上で重要なのは好奇心を大切にすることです。活動中は皆それぞれに疑問を持ち、絶えず議論や質問を重ねながら自然や活動に対する理解を深めます。活動が進行するにつれて参加者の顔が真剣になり、自ら学ぼうと活動や議論に積極的に貢献する姿を見て、自然環境に対する個々の興味や関心が沸々と湧き上がる瞬間を肌で体感することが出来ました。また、好奇心が自ら学び考える意欲や理解を深めるきっかけに繋がることを体験して、好奇心を大切にするという意識は日々の生活でも大切にしなければならぬことだと痛感しました。

また留学中には、自力で滞在先を確保するための交渉や異文化の受容など越えなければならない壁は尽きませんでした。しかし、壁を乗り越えたことは大きな成長や自信につながり、失敗や挑戦を恐れない心を養うことが出来ました。

私は海外で自分のやりたいことに打ち込むことで、自分の視野や可能性が広がりました。皆さんもまずは留学に目を向けてみて下さい。そして、世界で挑戦する自分の姿を思い描いてみて下さい。



筆者中央



筆者左

Global Space Josanjima / Kuramoto

海外留学を目指す学生、そして徳島大学で学ぶ外国人留学生のためのスペースとして、書籍等による情報提供、各種相談の場として開放しています。

常三島キャンパス
地域創生・国際交流会館4階
月～金 9:00-17:00

蔵本キャンパス
蔵本会館2階
月～金 9:00-17:00

第10期募集説明会実施報告

2018年7月23日(月) 12時～、トビタテ！留学JAPAN第10期申請者向け説明会を行い、18名が参加しました。トビタテ！留学JAPANの概要説明のほか、本学のトビタテ生の体験発表、留学計画作成のためのワークショップを行いました。



説明会の様子

海外留学相談対応

国際センター、国際課では、常三島・蔵本両キャンパスで、日本人学生の海外留学相談に随時対応しています。2018年4月から12月末までに51名の学生の相談に対応しました。相談内容は、短期海外研修、交換留学、留学計画、海外留学奨学金、外国語学習、ビザ・渡航手続きについてなど、多岐にわたります。

相談に来る時点で、明確なプランはなくても構いません。海外留学を考えている方は、気軽に地域創生・国際交流会館4階国際センター・国際課へ、相談に来てください。

徳島大学国際課留学生支援係
ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

Global Lunch

徳島大学の日本人学生と外国人留学生がランチを食べながら交流するイベントです。2018年度前期には週1回開催し、延べ175名が参加しました。

開催日は地域創生・国際交流会館1階または4階の掲示板で確認してください。



徳島大学国際センター 2018年度短期海外留学プログラム

国際センターでは、夏期・春期の長期休業期間中に2週間～1か月程度の海外留学プログラムを全学の学生向けに実施しています。外国語学習をメインの活動とする語学留学プログラムや、現地の学生・市民との交流や文化体験を主目的とするプログラム、その両方を組み合わせたプログラムがあります。参加学生は出発前に4、5回の事前指導を受け、出発前の準備や現地での生活に関する注意点について学びます。また、留学後には事後指導で留学体験の振り返りを行います。

2018年度短期海外留学プログラム 実施報告・予定

2018年度夏休み[留学先と留学人数]		2018年度春休み[留学先と留学人数(予定)]	
南イリノイ大学 (アメリカ)	2	ダナン大学 (ベトナム)	7
モナシュ大学 (オーストラリア)	7	オークランド大学 (ニュージーランド)	13
慶北大学 (韓国)	2	クイーンズ大学 (カナダ)	4
復旦大学 (中国)	1	レイリア工科学院 (ポルトガル)	2
クイーンズ大学 (カナダ)	2		
トレント大学 (カナダ)	3		
計	17	計	26

短期海外留学プログラム

短期海外留学プログラムの詳細・参加手続き・海外留学奨学金申請に関する質問等は徳島大学国際課留学生支援係まで
ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

留学計画、留学先選びに関する相談は国際センター福岡まで
y.fukuoka@tokushima-u.ac.jp

徳島大学国際センター

検索

モナシュ大学 MUELC (オーストラリア)

総合科学部2年 仲野 早貴

私の1ヶ月のオーストラリア留学で一番心に残っているのは、温かい人々との出会いです。私のホストファミリーは本当に優しく、自由に過ごすことができました。オーストラリアに来て少し経ったとき、パソコンのキーボードが壊れて使えなくなったので、新しい物を買うつもりだったのですが、ホストファザーが自分の仕事場からマウスとキーボードを持ってきてくれて、それを1ヶ月使わせてもらいました。また、授業でプレゼンテーションがある時は、家で練習しようと思いホストマザーに聞いてほしいと頼むと、「もっと大きな声で」と言って大きな声で言えるようになるまで特訓してくれたことが心に残っています。いつも優しいマザーが私のために厳しく言うてくれていると思うと頑張ろうと思えました。プレゼン本番ではつまってしまい上手くいきませんでしたが、マザーと練習した通り大きな声で話せるようになり、次のプレゼンで練習の成果を発揮することができました。最初のほうは英語が伝わらないのがつらくて、練習しても1ヶ月では話せるようにならないと諦めかけていましたが、私の英語が伝わらないのは自信がなくて小さい声で話しているからだということにホストマザーが気づかせてくれました。それからは、どれだけ自信がなくても大きな声で話すようにすると少しずつ伝わるようになってきて、ホストファミリーとの会話が楽しくなりました。また、英語がすらすらと出てこないことに悩んでいて、それを担任の先生に相談すると、日本語でも話すスピードは人それぞれで、それは私の性格だから人との違いを気にしなくてもいいと言ってくれました。

私は今回の留学でたくさんの温かい人々に会い、英語を話す上で大切なのは流暢さではなく、コミュニケーションをとりたいという気持ちだということに気づきました。この経験を活かして、人との違いに焦らず、自分のペースで成長できるようにこれからも努力を続けようと思いました。



筆者右から3人目



南イリノイ大学 CESL (アメリカ)

理工学部1年 横濱 ころ

私はアメリカで将来の夢を実現させたいと思っています。そんな中留学説明会が開かれ、行くなら今しかない!と感じ、南イリノイ大学のCESL (Center for ENGLISH as a Second Language) で学ぶことを決意しました。海外に行くのは初めてでした。クラスによって授業時間は違いますが、私の場合は朝からお昼過ぎくらいまで授業があり、その後は自由時間でした。クラスは7つに分かれており、初日に受けるPlacement testの結果によって自分のレベルにあったクラスに配属されます。授業は文法やListening、Speaking、Readingなどです。最初はサウジアラビアからの留学生の授業に対する積極性に圧倒されていましたが、少しずつ私も積極的に発言することができたと思います。

今回の研修を通して様々なことを学ぶことができました。まず、海外の方とコミュニケーションをとることに対する壁がなくなったことです。留学前は英語を話すことが苦手ではなかったとはいえ、自分の英語は合っているのか、うまく通じているのか不安になりながら会話をしていました。今でも完璧な英語を流暢に話すことは難しいけれど、伝えよう、会話を楽しもうという思いの方が大きくなりました。また、英語で英語の文法を学ぶことで、日本語で学ぶよりも自分の頭の中にずっと入った気がしました。

そして、アメリカに来てから2週間目の週末にシカゴへ行って大都会を堪能してきました。シカゴ美術館や科学産業博物館、さらに夜景を見に行ったり、地平線に太陽が沈むところを電車の窓から楽しんだりすることができました。

また、個人的に私が今徳島大学で勉強している分野と同じことを研究している方のお話を直接聞くことができ、普通の語学留学とは少し違った体験ができたこともいい思い出となり、自分の将来の夢に一歩近づけた気がしました。

